

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	三田福祉ホーム	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人ともかわさき ・代表者名 理事長 鹿嶋 勝美 ・住所 川崎市川崎区渡田1-15-5	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	定員10名／利用者6名(平成28年3月31日時点)		
収支実績	収入 利用料 2,491,400円 指定管理委託料 13,949,000円 雑収入等 35,479円 合計 16,475,879円	支出 人件費 11,385,258円 事務費 942,831円 事業費 2,780,302円 合計 15,108,391円	収支差額 1,367,488円
サービス向上の取組	平成27年度は、利用者3名に対し、本人の意思決定やライフスタイル等を尊重しながら、自分の住まう場所を自分で選択できるよう地域への移行を支援した。また、生活能力等の低下から自室に籠りがちで、長期間居室内の清掃等行き届かない利用者に対して、きめ細やかな支援を行うことで、自力で清掃を行うなど、生活能力の向上に寄与した。		

3. 評価 (評価段階: 5~1,標準: 3,加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者の健康管理について、規則正しい食生活が送れるよう、栄養士から栄養相談を受け、管理人が朝食提供を行い、利用者とのコミュニケーションをとるなど、健康管理について支援ができています。 ・問題行動がある利用者に対して関係機関と連携し必要な支援をすることで、本人も落ち着きを取り戻す等、難しい事例についても適切な支援を行ったことは評価できる。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・経費は概ね予算どおりに執行されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・会社訪問や関係機関とのカンファレンスに参加するなどして、利用者の内外の状況を把握するとともに、仕事から帰宅してきた利用者を待って、悩みを聞くなどコミュニケーションを取り、就労継続に向けた支援に役立っている。 ・平成27年度は空き部屋を活用し、施設等から地域に移行する体験部屋として使用することで、地域ニーズに対応しようと工夫をしている点については、評価できる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・苦情については、体制を整え窓口担当者を周知し、口頭で受けることが多いが、記録を残し、改善し報告している。 ・ホーム内での困難事例に対応するため、外部研修を受講し共有するなど、職員の資質の向上に取り組んでいる。 ・災害に備えて、通報、避難、消火訓練を、消防署職員立会いのもと実施し、有事に備えて利用者が定期的に居室内を片づけるよう支援を行った。 ・人員配置については、サービス管理責任者の有資格者を1名雇用しており、生活支援を実施するにあたり、必要な能力を有している者を適切に配置している。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・基本法令に基づき、消防用設備の保守点検等を実施し、効果的な施設の管理運営を実施している。 ・業務日誌を毎日記載し、危険な場所は設備点検や修繕等を行い、施設の適正な維持管理を行った。 ・共有スペースの清掃については、利用者が当番制で清掃しており、職員と協力して、管理を行っている。また、施設の樹木の伐採は職員、草取りは職員と利用者で行うなど、管理経費の縮減に努め、施設を衛生的に維持した。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・平成27年度は、利用者3名に対し、本人の意思決定やライフスタイル等を尊重しながら、地域への移行を支援した。また、生活設計等、金銭管理についても、後見人等と月1回面談するなど、利用者等と良好な関係が構築できるよう日々の支援を着実に実施してサービス向上に向けた取り組みが図られた点は評価できる。
- ・平成27年度は空き部屋を活用し、施設等から地域に移行する体験部屋として使用することで、地域ニーズに対応しようと工夫をしている点については、評価できる。
- ・26年度末に受審した第三者評価において、課題として挙げられた事項については、27年度に改善に取り組んでいる点は評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・施設の老朽化が進んでいるため、定期的な点検を行い、軽易な修繕や備品の購入を計画的に行うなど、適切な維持管理に努めること。